



弓張月ゆみはりつき 十八じゅうはち

西馬譯せいばやく  
芳虎画ほうこゑ

錦昇堂にしんどう

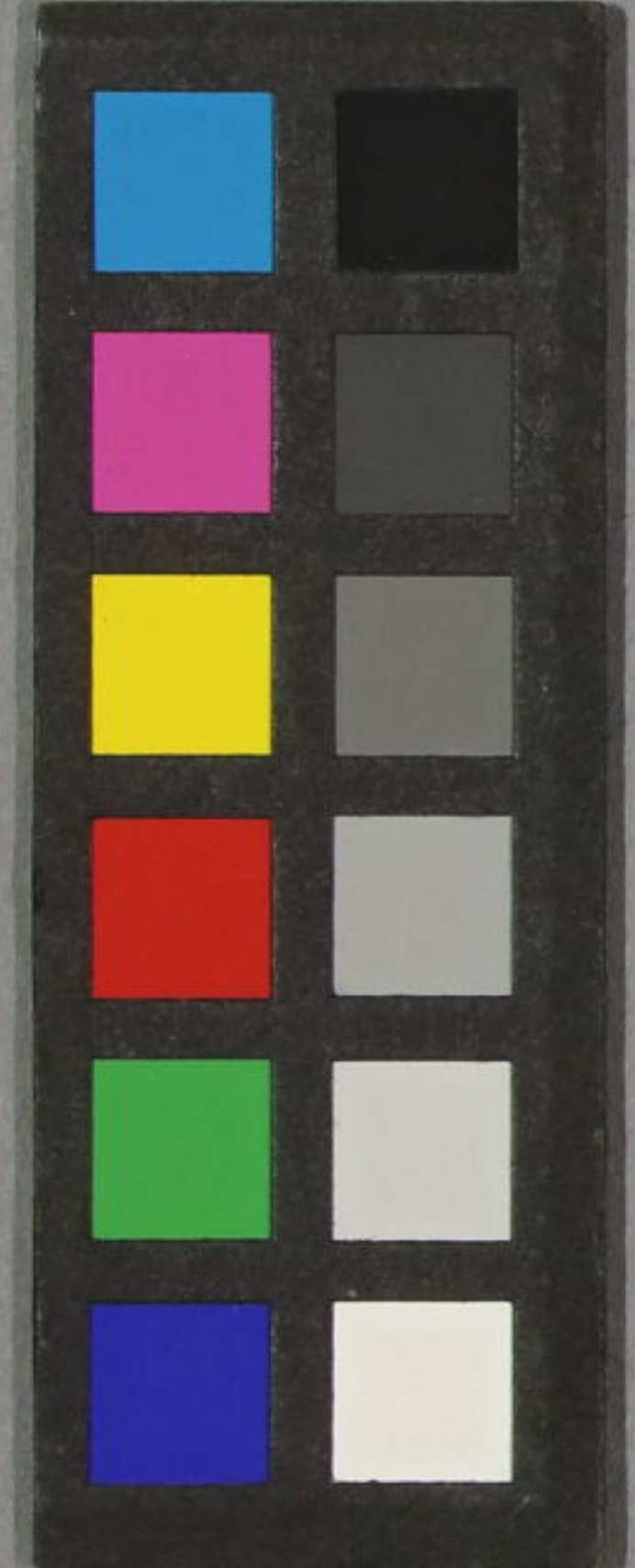
~ 13  
3693  
36

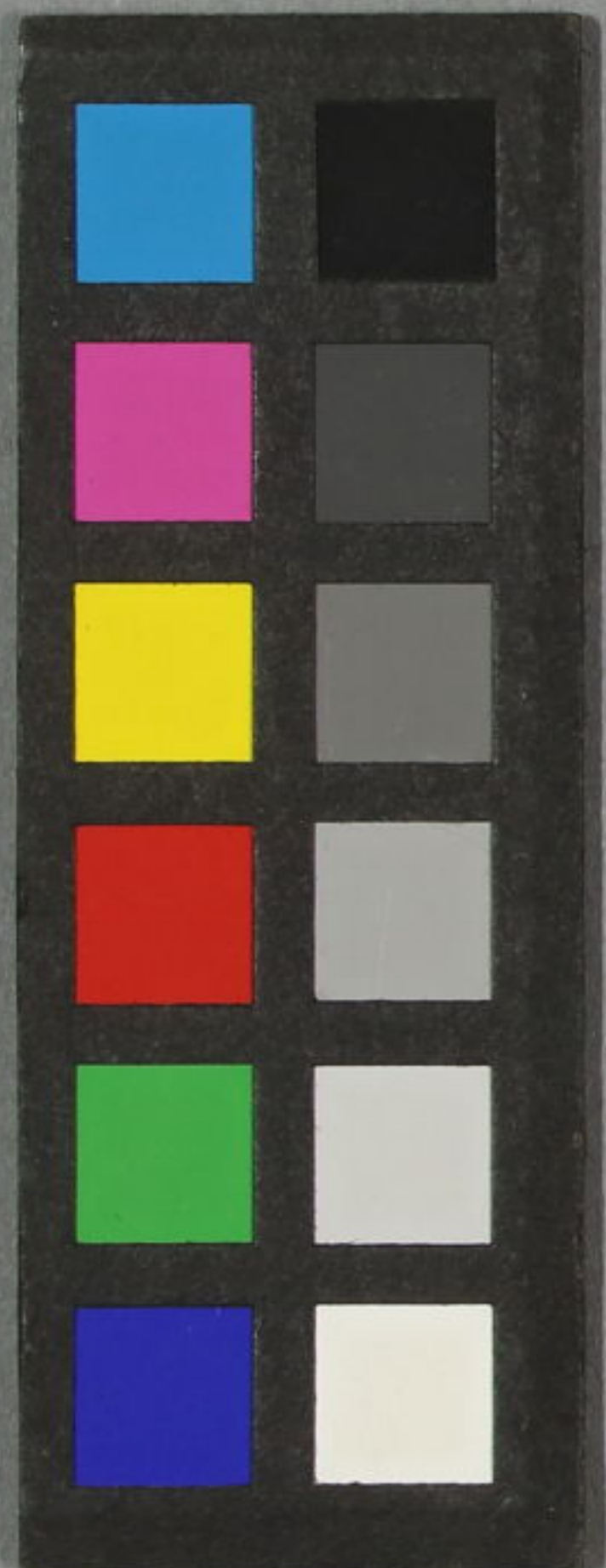
下

介題すけだて

~ 13  
3693  
35

上





^ 13  
3693  
35



門 13  
3693  
35

この巻

西馬

繹

芳

西

録

文

庫

張弓 西馬 繹 芳 西 録 文 庫

五 榮

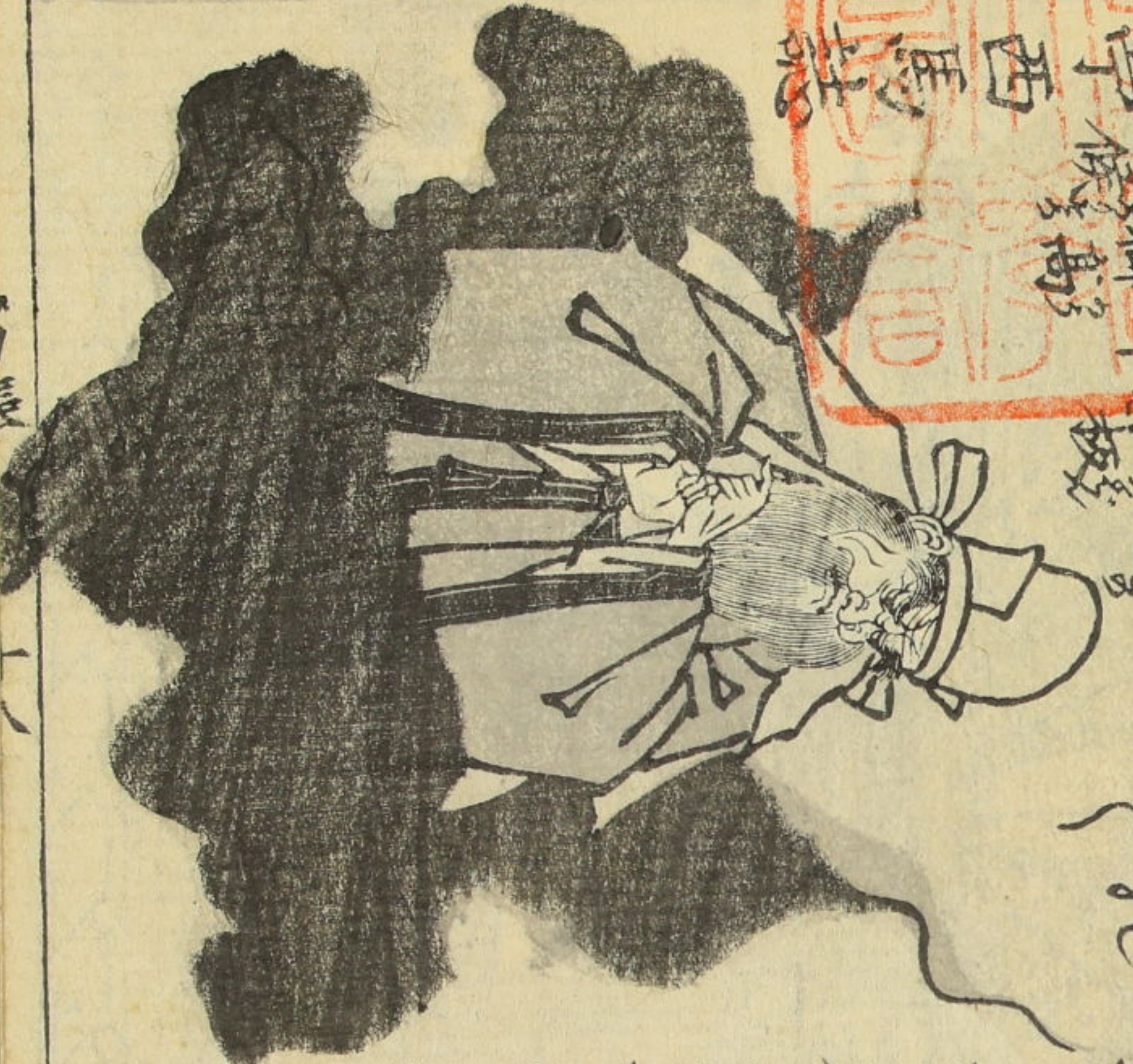
十 八

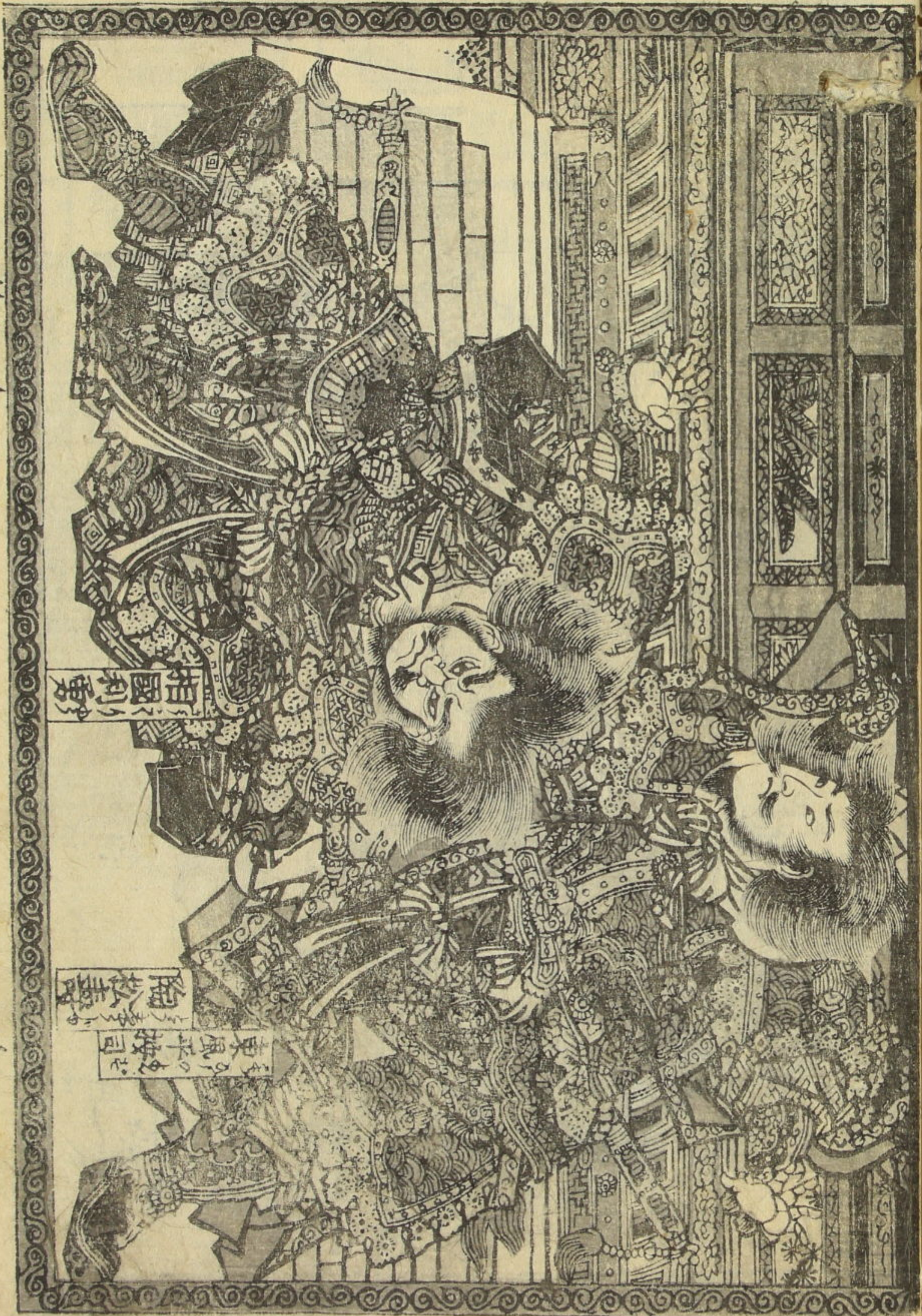
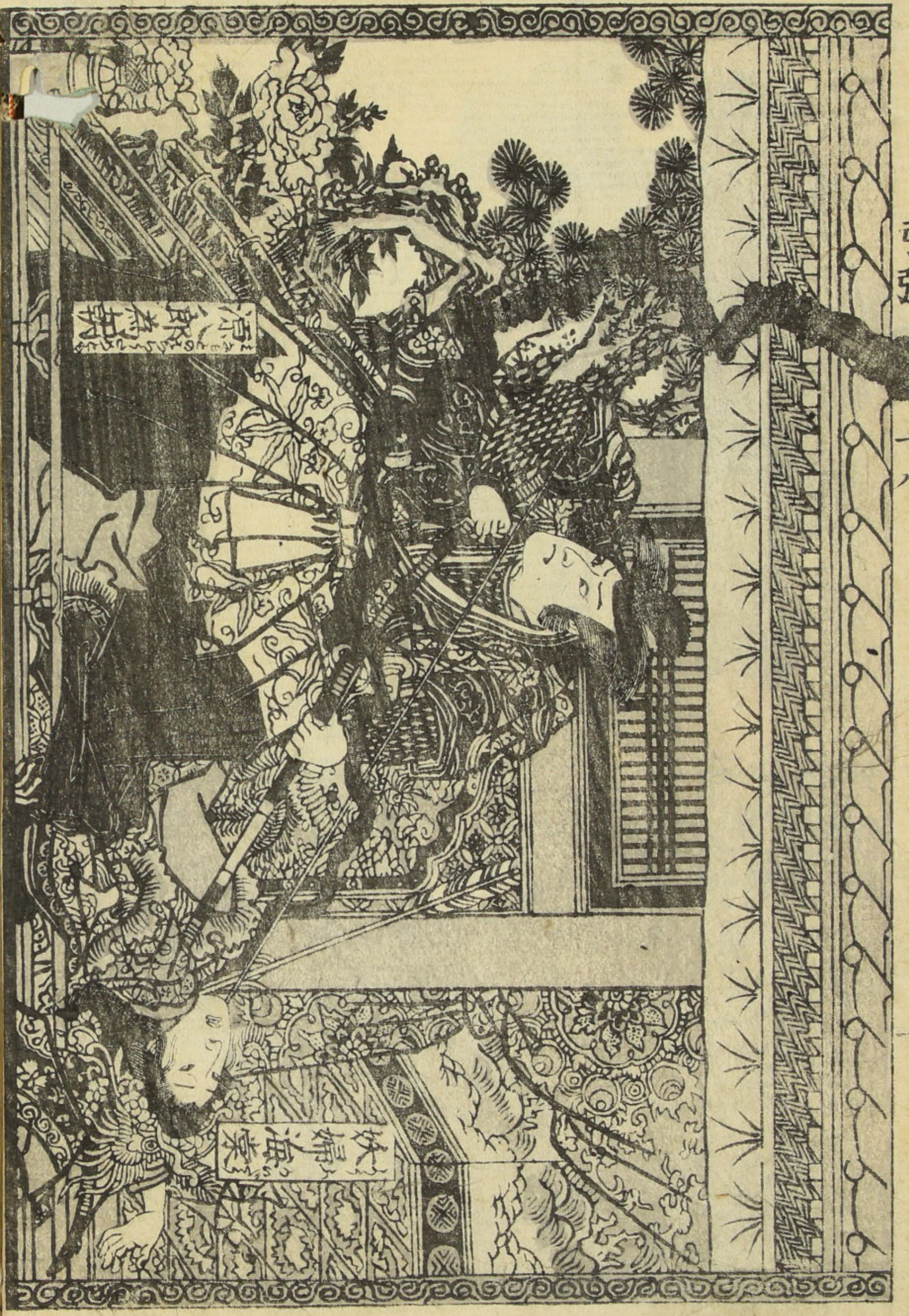
十八巻

1011

光陰の月た弓張竹前より早く既に十有八編の巻は  
重荷に全し先哲の餘光に其名目の妙を書肆  
が雷小言蛇蛭のたよりを撰寫し其覽を備へ  
御意の豆福内大椅の外に冊數を突之合し  
其屋の縁に坐る如僕の家号も西の宮雀唯千代  
千代之妻に尊りて片言の無大鵬の見え  
まらば一個百羽のゆるく二馬相傳草稿のよ  
うに射し生かんと故人が遺草の一種稿畫  
九郎偷盜傳當時の流風取交り増補を先筆  
種時發市の所花玉の暴風の殃り

飄算筆驗  
ゆらゆら  
痛小おの  
製取の  
延朝仕此  
節浪出板  
相れ何卒  
評奉希候  
樂亭西馬集







宗電

伊年白髪神此  
去来武多



悪婆阿公

兄鶴

阿公

田の外乃  
老本と  
是れぬ  
今枝  
樂亭





松壽  
 此の松壽は、  
 大正の御代に  
 御誕生の御事  
 御誕生の御事  
 御誕生の御事

此の松壽は、  
 大正の御代に  
 御誕生の御事  
 御誕生の御事  
 御誕生の御事

松壽  
 此の松壽は、  
 大正の御代に  
 御誕生の御事  
 御誕生の御事  
 御誕生の御事



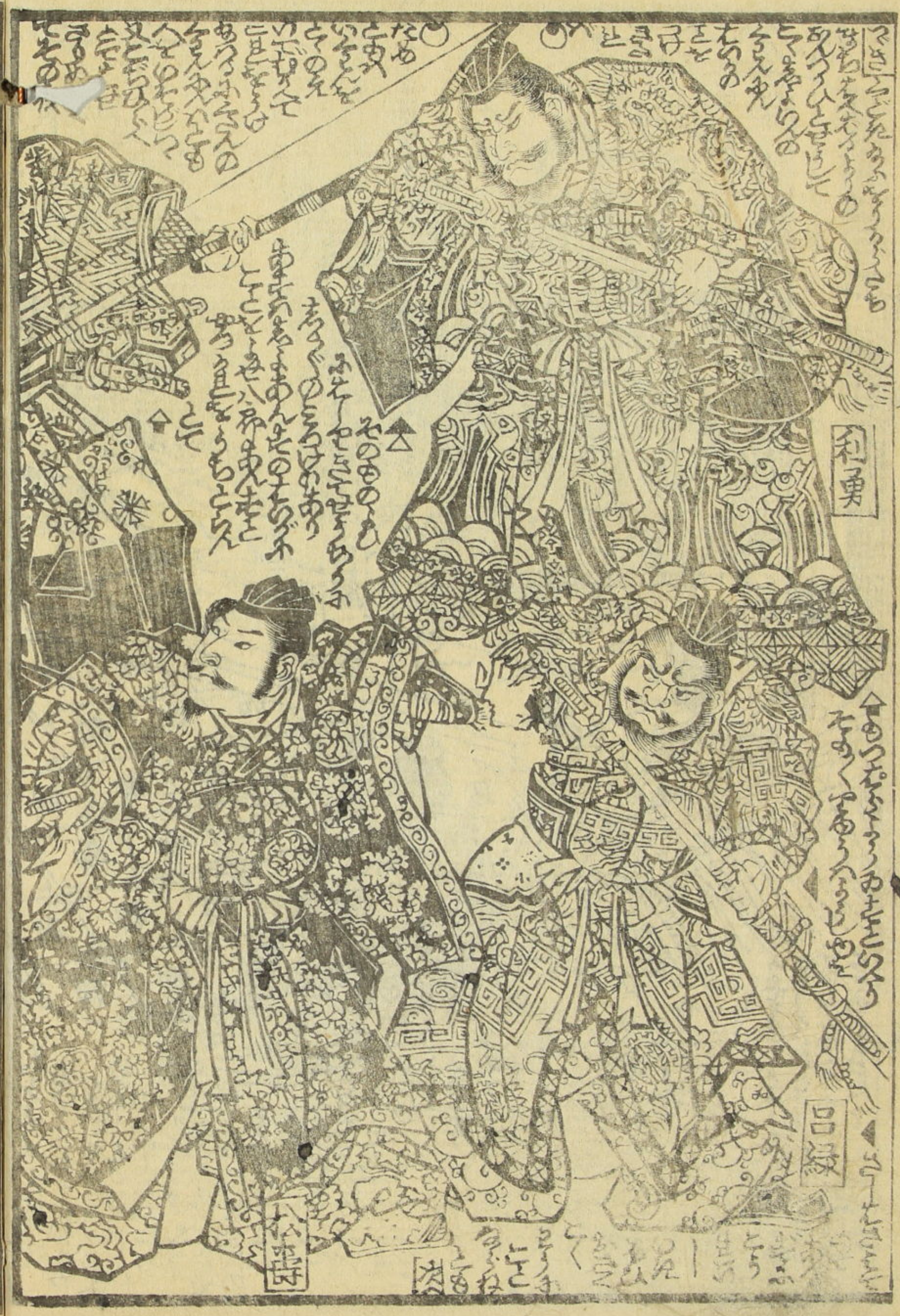
松壽  
 此の松壽は、  
 大正の御代に  
 御誕生の御事  
 御誕生の御事  
 御誕生の御事

此の松壽は、  
 大正の御代に  
 御誕生の御事  
 御誕生の御事  
 御誕生の御事

松壽  
 此の松壽は、  
 大正の御代に  
 御誕生の御事  
 御誕生の御事  
 御誕生の御事











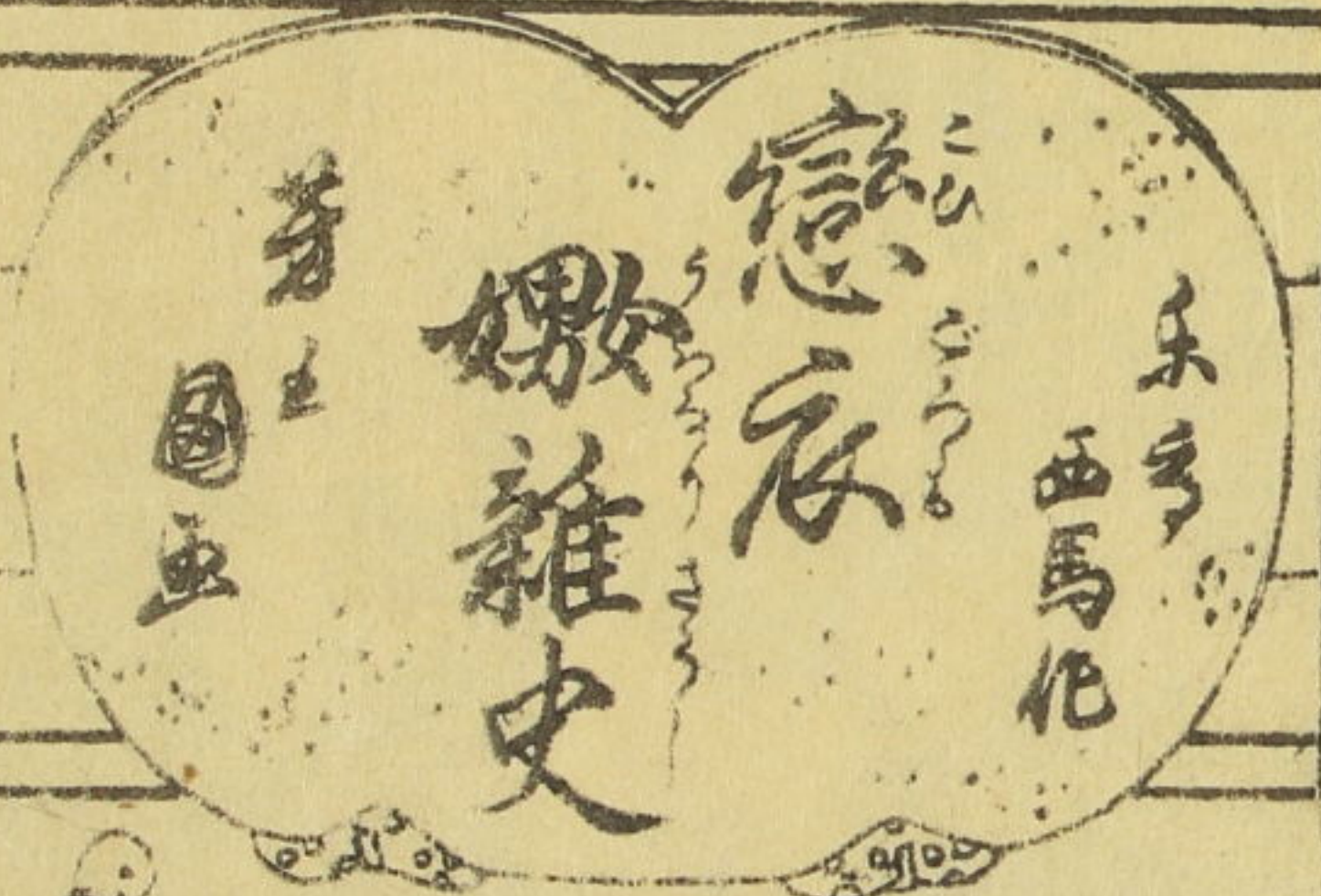
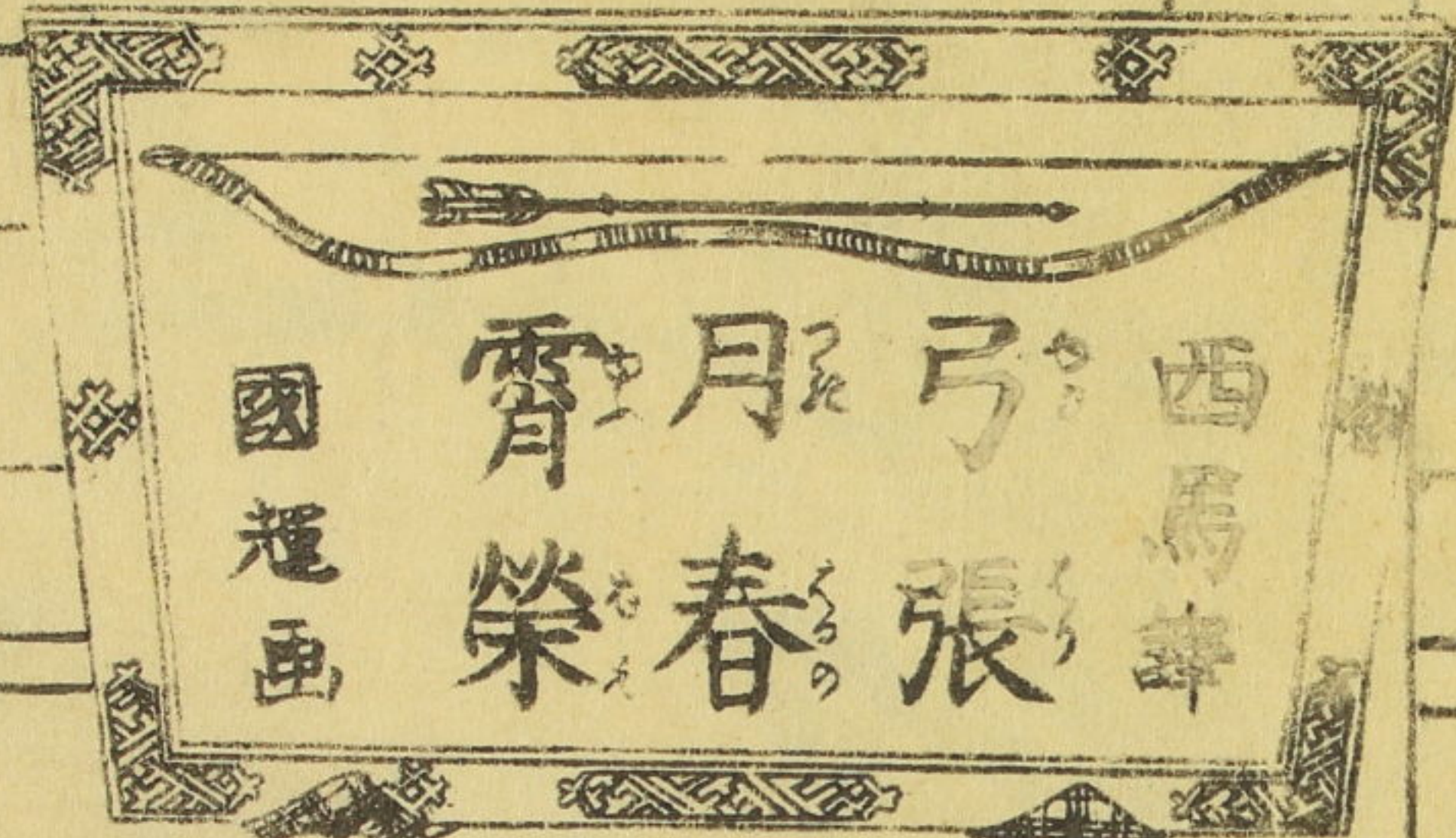


錦昇堂新發行目錄

東錦繪草紙問屋

照降町

惠比壽屋庄七梓

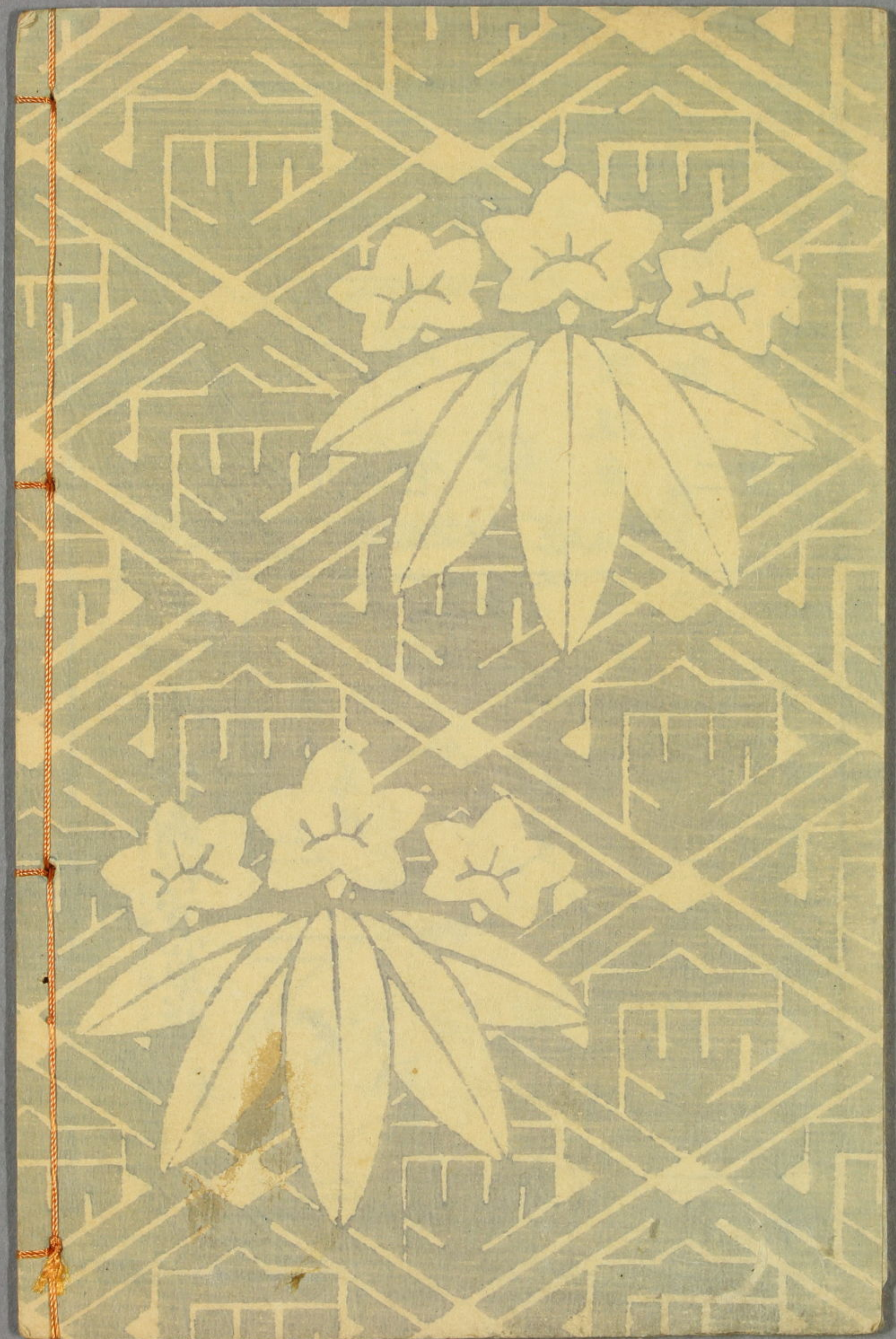


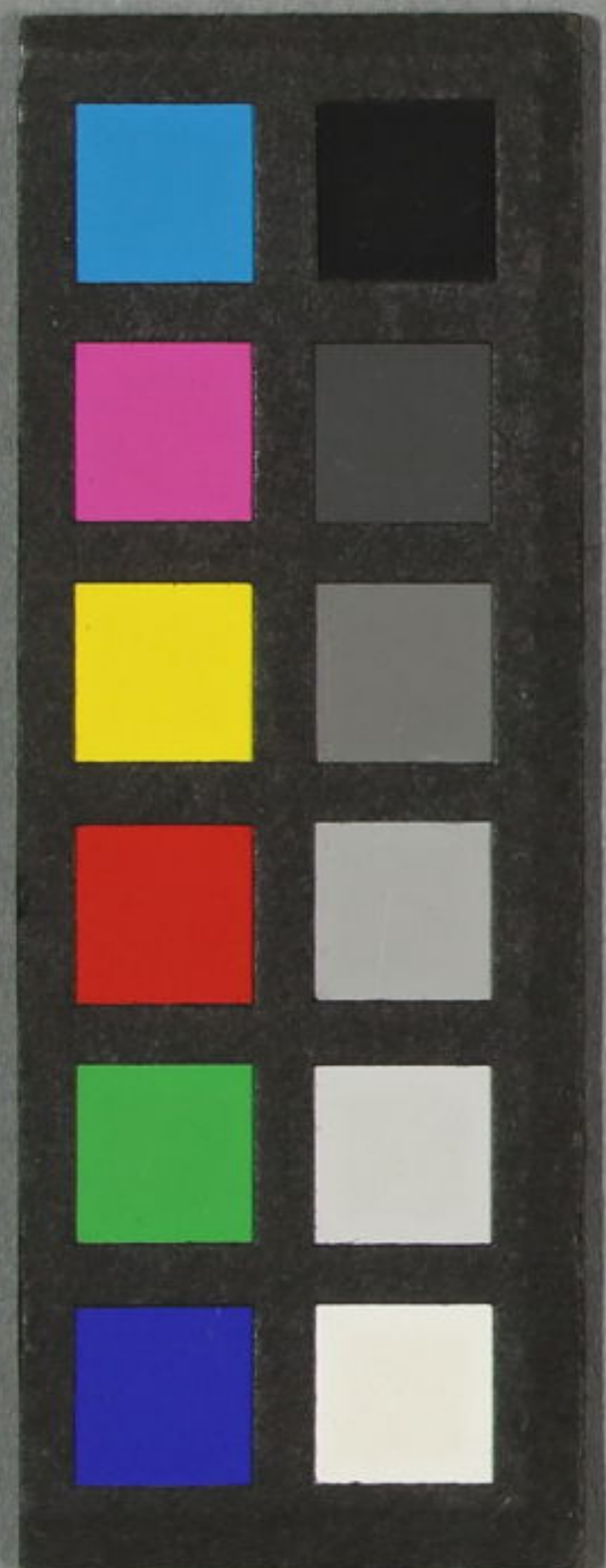
小夜衛白皮草紙

仙果作 芳希画



樂亭譯  
一猛齋畫





西馬譯  
芳虎画

弓張月十八  
篇

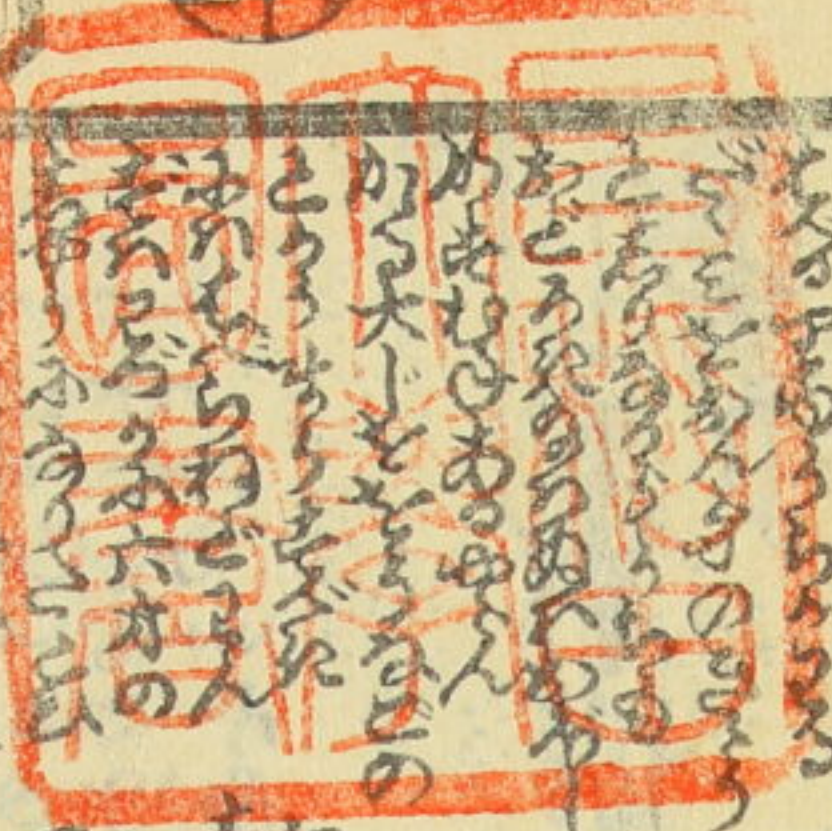
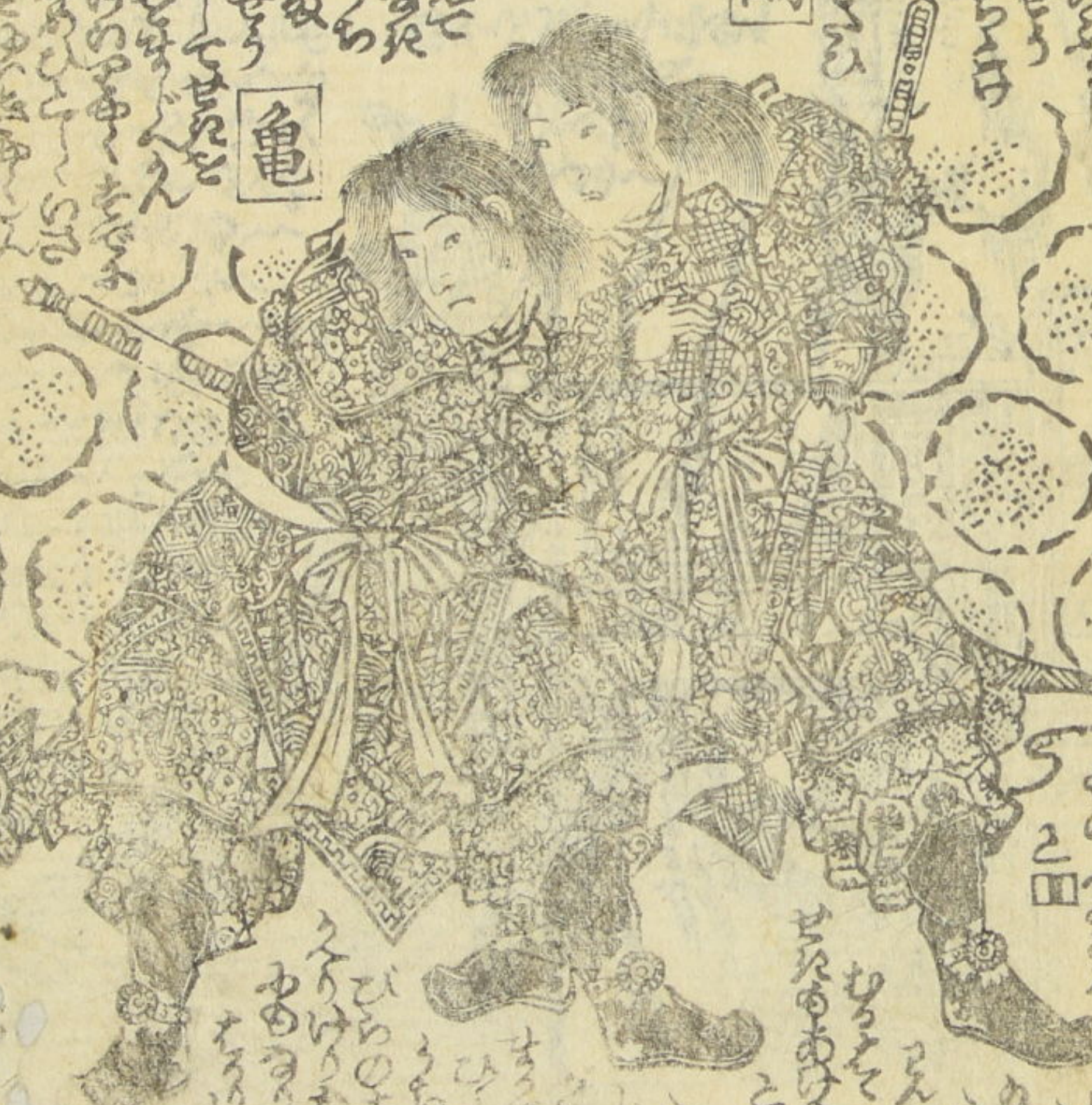
錦昇堂板

下

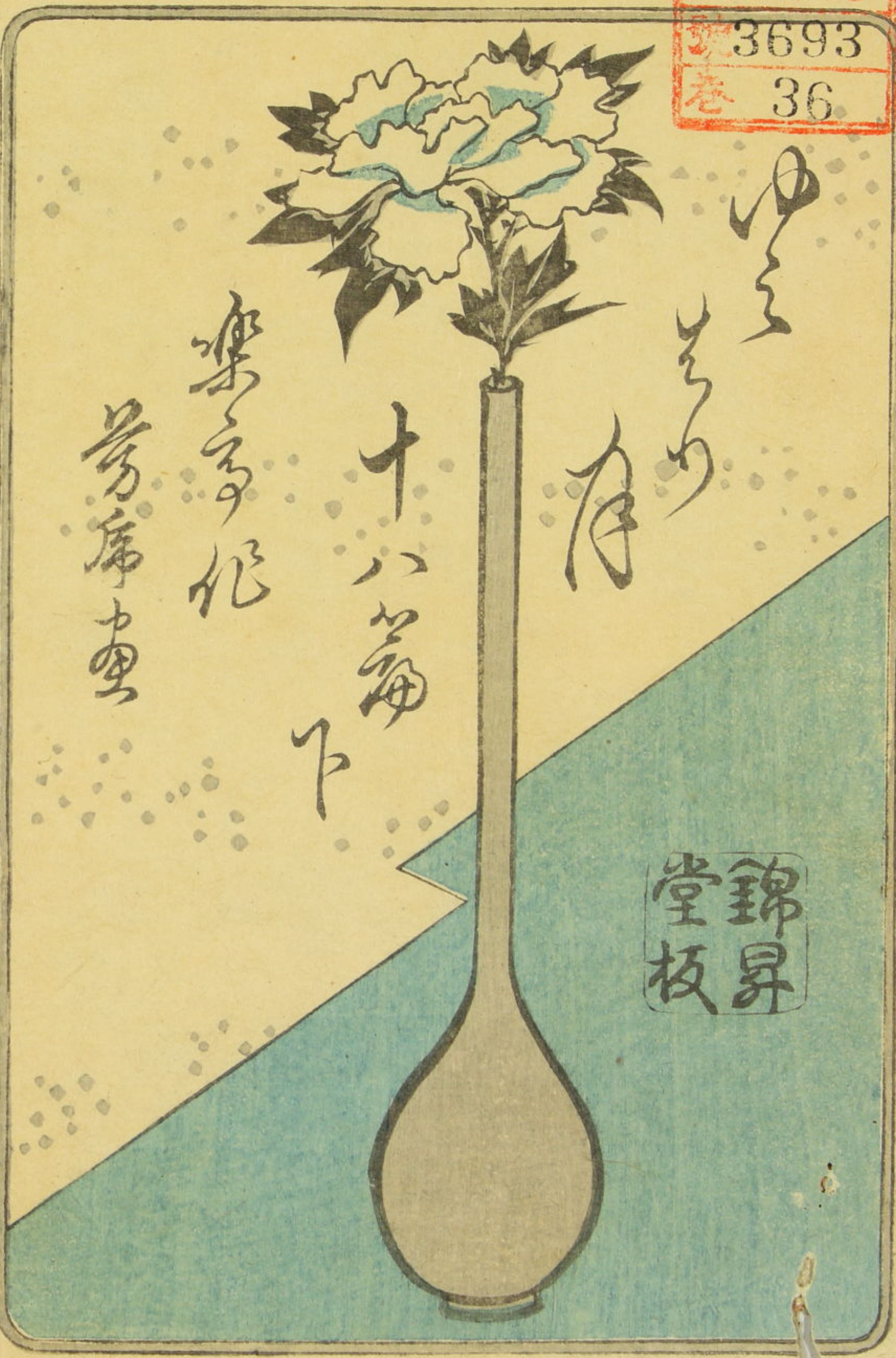
13  
3693  
36



1408  
 1409  
 1410  
 1411  
 1412  
 1413  
 1414  
 1415  
 1416  
 1417  
 1418  
 1419  
 1420  
 1421  
 1422  
 1423  
 1424  
 1425  
 1426  
 1427  
 1428  
 1429  
 1430  
 1431  
 1432  
 1433  
 1434  
 1435  
 1436  
 1437  
 1438  
 1439  
 1440  
 1441  
 1442  
 1443  
 1444  
 1445  
 1446  
 1447  
 1448  
 1449  
 1450  
 1451  
 1452  
 1453  
 1454  
 1455  
 1456  
 1457  
 1458  
 1459  
 1460  
 1461  
 1462  
 1463  
 1464  
 1465  
 1466  
 1467  
 1468  
 1469  
 1470  
 1471  
 1472  
 1473  
 1474  
 1475  
 1476  
 1477  
 1478  
 1479  
 1480  
 1481  
 1482  
 1483  
 1484  
 1485  
 1486  
 1487  
 1488  
 1489  
 1490  
 1491  
 1492  
 1493  
 1494  
 1495  
 1496  
 1497  
 1498  
 1499  
 1500



門 へ 13  
 3693  
 卷 36

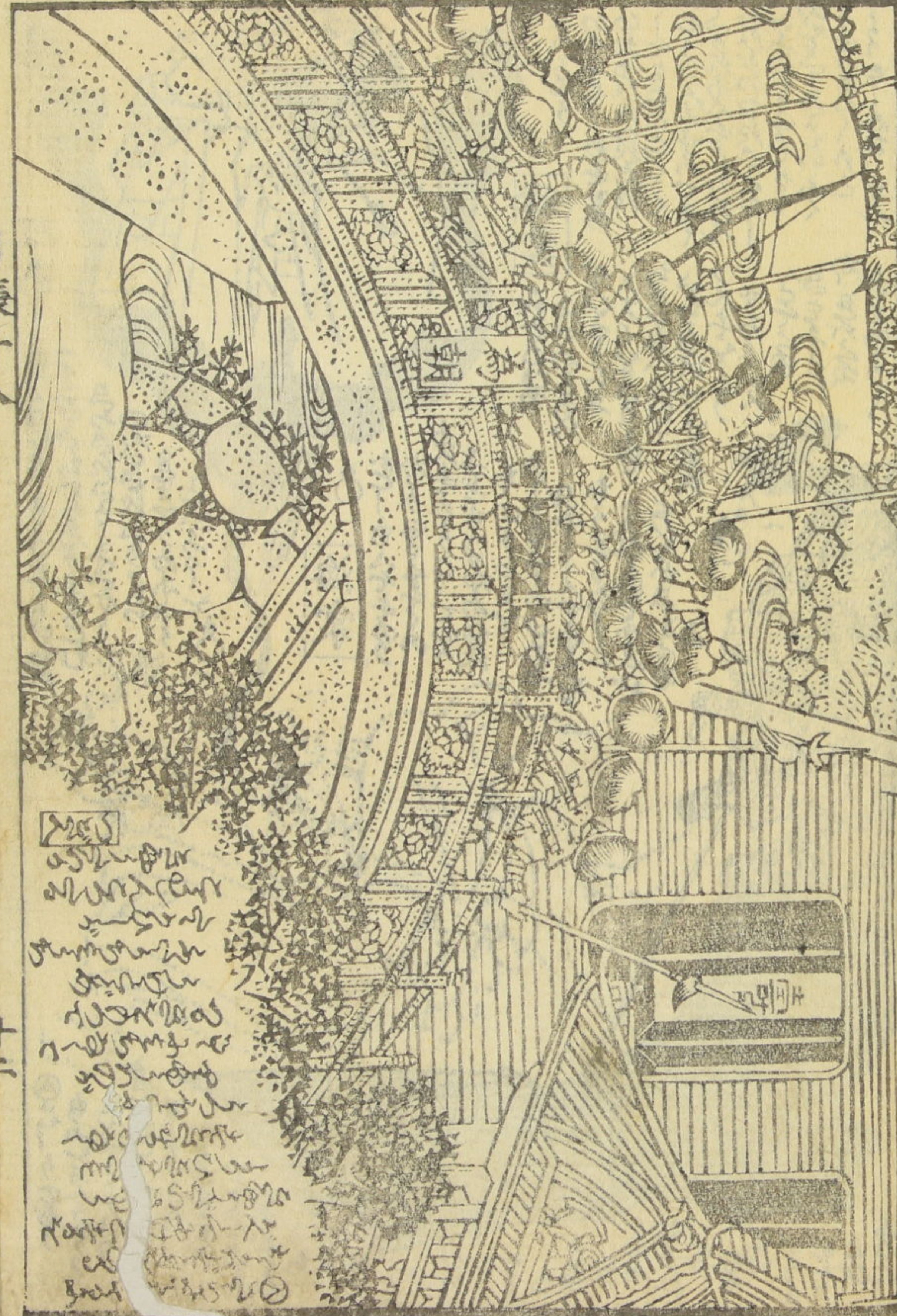


樂多紀  
 号席中

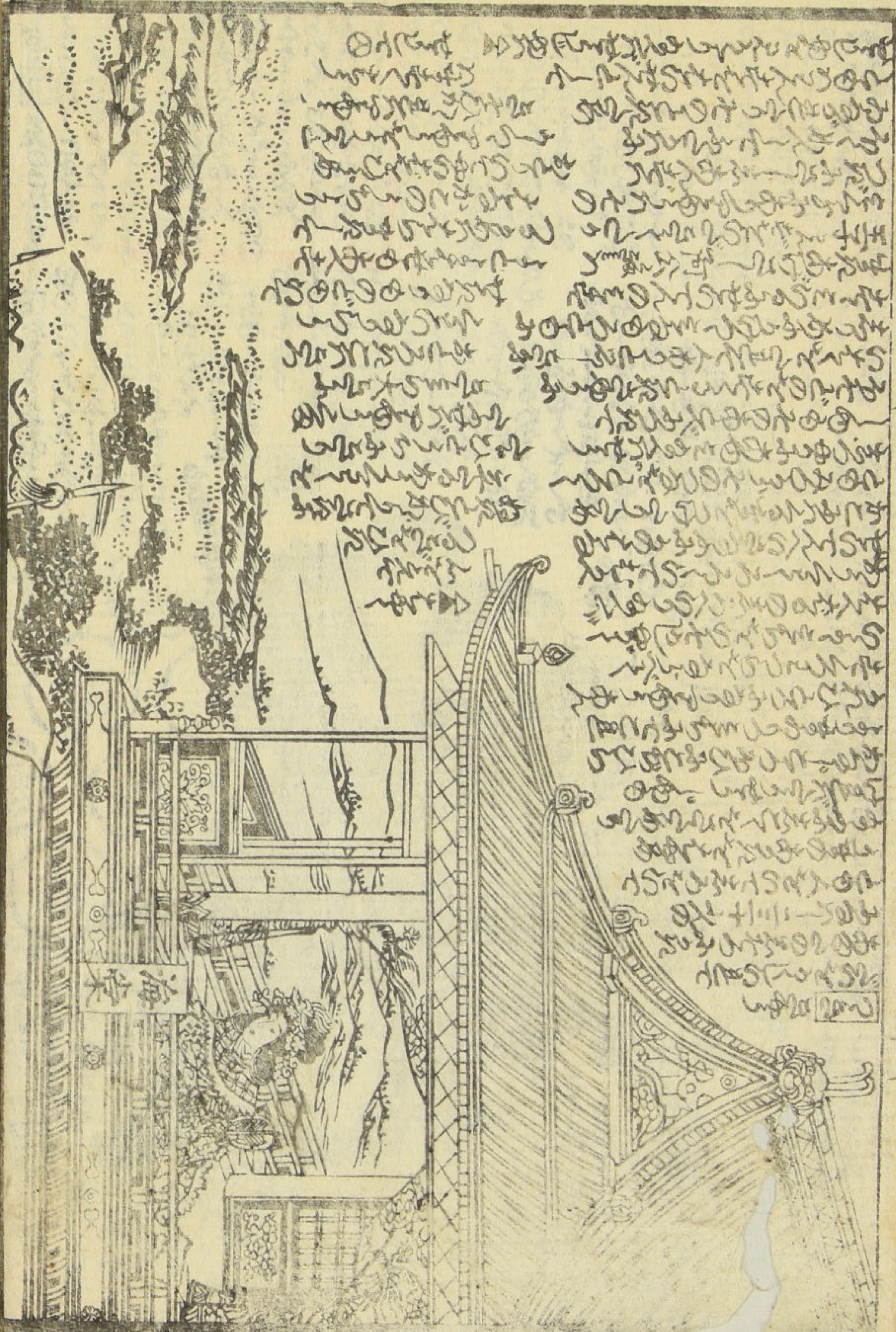
十八海  
 下

錦昇  
 堂板





Handwritten text in vertical columns, likely a commentary or a list of items related to the illustration. The text is written in a cursive style and includes several lines of characters.



Handwritten text in vertical columns, likely a commentary or a list of items related to the illustration. The text is written in a cursive style and includes several lines of characters.



海雲

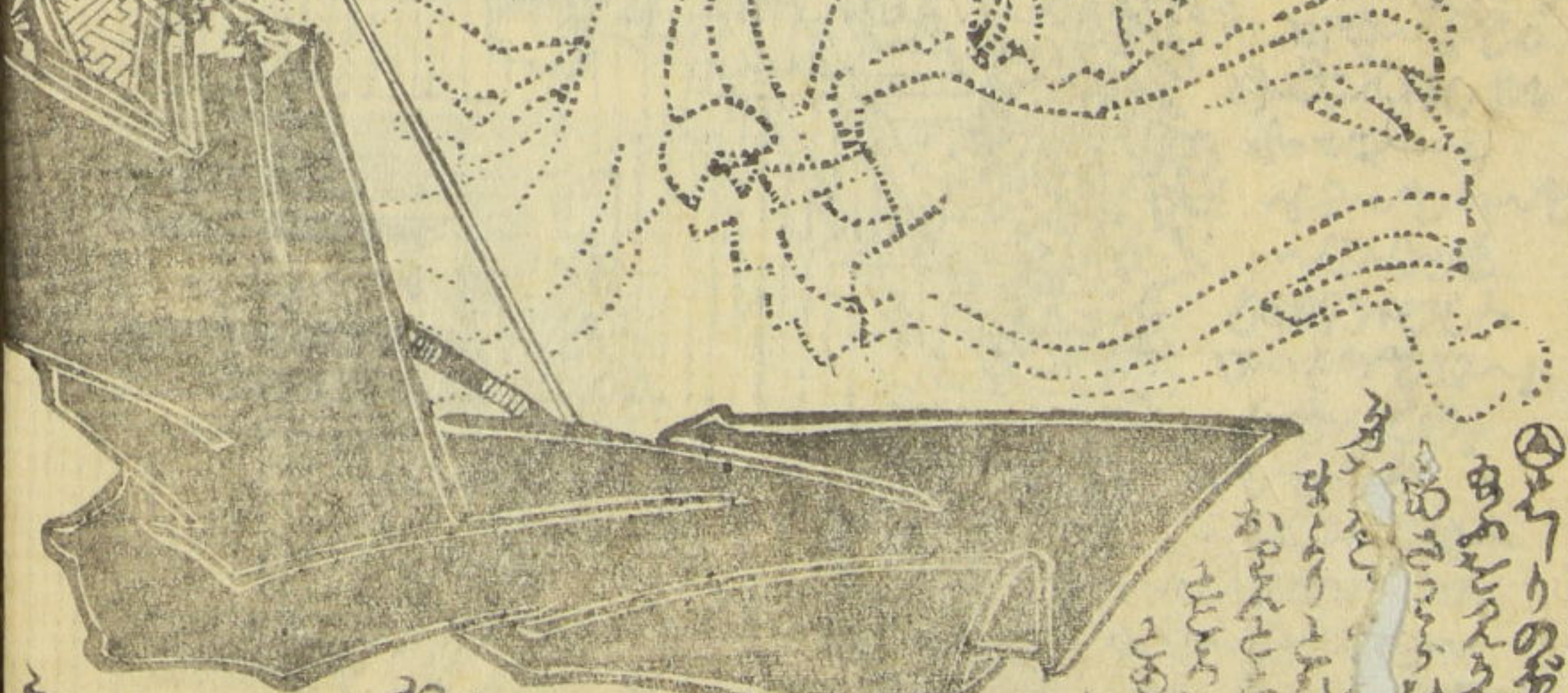
海雲の御説書  
の御説書  
の御説書  
の御説書

海雲

海雲の御説書  
の御説書  
の御説書  
の御説書

海雲

海雲の御説書  
の御説書  
の御説書  
の御説書



海雲の御説書  
の御説書  
の御説書  
の御説書

為朝



松壽

松壽の御説書  
の御説書  
の御説書  
の御説書

松壽の御説書  
の御説書  
の御説書  
の御説書

為朝  
 松壽  
 鳥

此圖繪有三位武士，均身著精緻的甲冑。上方武士持刀，中間武士持槍，下方武士則持長刀。背景有山石與雲霧，營造出戰場或行軍的氛圍。

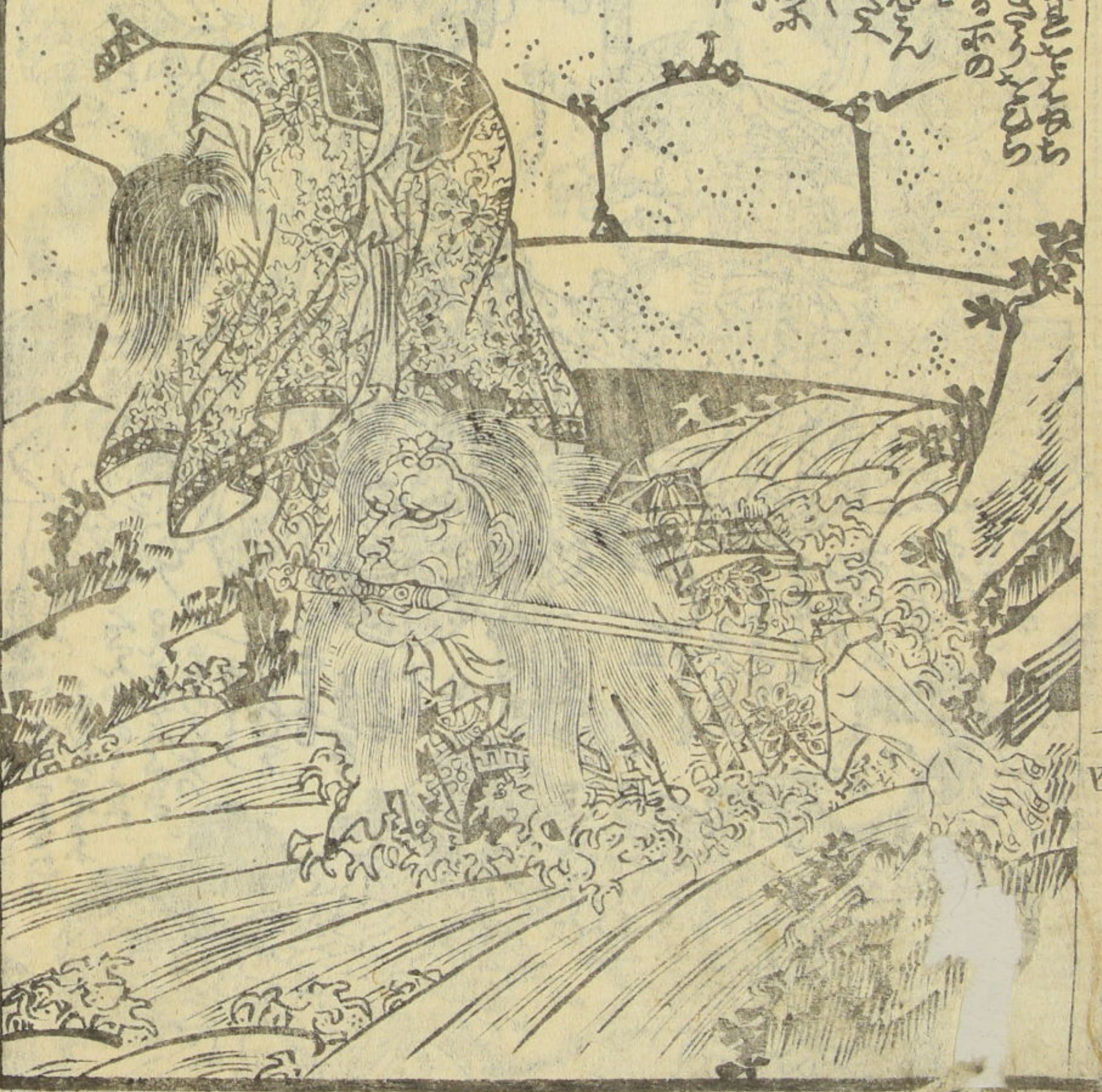
此圖繪有三位武士，均身著精緻的甲冑。上方武士持刀，中間武士持槍，下方武士則持長刀。背景有山石與雲霧，營造出戰場或行軍的氛圍。

此圖繪有三位武士，均身著精緻的甲冑。上方武士持刀，中間武士持槍，下方武士則持長刀。背景有山石與雲霧，營造出戰場或行軍的氛圍。

Handwritten text in the top left section, including the name "王子阿公" (Prince Akagō) and various kanji characters.



Handwritten text in the top right section, including the name "王子阿公" (Prince Akagō) and various kanji characters.











白縫妻  
あつちのうらまへ  
あつちのうらまへ  
あつちのうらまへ

鶴  
あつちのうらまへ  
あつちのうらまへ  
あつちのうらまへ

田平  
あつちのうらまへ  
あつちのうらまへ  
あつちのうらまへ



為朝  
あつちのうらまへ  
あつちのうらまへ  
あつちのうらまへ

松壽  
あつちのうらまへ  
あつちのうらまへ  
あつちのうらまへ

儀助  
あつちのうらまへ  
あつちのうらまへ  
あつちのうらまへ







